

七次総合計画との比較表（第3部会）

第七次	
分野	政策 施策
III 活き活きと働くまち	<p><b>政策 8 農林水産業に関する政策</b></p> <p>若者が希望を持てる農林水産業のまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意欲ある農林漁業者の新たな取組や経営基盤の強化を支援し、農林水産業の振興を図ります。</li> <li>●農地・農村環境を適正に保全し、豊かな農林水産業を将来につなげます。</li> </ul> <p>1 稲作の強化と園芸の推進により農業経営の複合化を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ほ場の適正管理や農地の集積・集約化により、米生産コストの削減を図り、稲作農業の基盤を強化します。</li> <li>2 園芸の生産拡大を推進し、稲作と園芸を組み合わせた農業経営の複合化を進めます。</li> <li>3 意欲ある若者や女性の就農を促進するため、就農初期の経営基盤の安定化を図ります。</li> </ol> <p>2 伐って守る林業とつくり育てる水産業を振興する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 森林の多面的機能を発揮し資源の循環利用を図るため、森林を適切に手入れするとともに木材の有効活用を推進します。</li> <li>2 つくり育てる漁業を推進して水産資源の保全を図り、漁獲量の向上に取り組みます。</li> </ol> <p>3 農産物のブランド化と需要を拡大する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生産意欲や所得の向上につながるビジネスモデルを構築し、農林水産物のブランド化と6次産業化を推進します。</li> <li>2 福井米の消費拡大や学校給食で農産物の使用を拡大するなど、地産地消による食育の推進を図ります。</li> <li>3 農林水産物の情報発信や首都圏での商談会、物産展を開催し、農林水産物の販路拡大を図ります。</li> <li>4 消費者の食の安全・安心に対する意識に応えるため、新鮮な食品の安定供給を図ります。</li> </ol> <p>4 農山漁村の生活環境を守る</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 農地の多面的機能の保全や、農林水産業の生産基盤の整備・保全により、農山漁村の生活・生産環境を保持します。</li> <li>2 市民に自然とふれあう場を提供し、農林水産業への理解や関心を深めます。</li> <li>3 農産物への鳥獣被害を軽減するため、有害鳥獣対策を推進します。</li> </ol>
	<p><b>政策 9 商工業に関する政策</b></p> <p>活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基幹産業の振興による産業基盤の強化や創業の促進を図り、地域経済を活性化します。</li> <li>●UIターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、仕事と家庭が両立できる雇用環境づくりを推進します。</li> </ul> <p>1 地域の商工業を振興する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究開発から販路開拓まで、企業の様々な事業活動を支援するとともに、本市産業への波及効果が見込まれる新事業の創出を促進します。</li> <li>2 基幹産業の発展や新規雇用の創出を図るため、市外企業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。</li> <li>3 各種団体と連携し、地域に根差した商業・サービス業の発展に努めます。</li> </ol> <p>2 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若者や女性をはじめとした多様な創業を支援します。</li> <li>2 中小企業が持つ貴重な技術やノウハウを次代に引き継ぐため、事業承継の支援体制を充実します。</li> </ol> <p>3 福井で働くことを応援する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の魅力や市内企業の情報発信を強化するとともに、県やハローワークをはじめとした関係機関との連携を推進し、UIターン就職や地元就職</li> <li>2 学生や社会人が、希望する職場で安定的に働ける就労機会を創出します。</li> <li>3 ワークライフバランスの推進に取り組む企業を支援し、誰もが安心して働けるよう雇用環境の充実を図ります。</li> </ol>

第八次	
分野	政策 施策
III 活き活きと働くまち	<p><b>政策 9 農林水産業に関する政策</b></p> <p>未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農林水産物のブランド力向上、新たなマーケティングや販路の開拓を進め、農林水産業の振興を図ります。</li> <li>●農山漁村の環境を守り、持続的な農林水産業の発展につなげます。</li> </ul> <p>1 スマート農業等新たな時代に対応した農業を推進する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 水田園芸の拡大や果樹の栽培拡大による新たな産地化など、稲作と園芸の複合経営推進を図ります。</li> <li>2 <b>スマート農業</b>の導入の支援や、ほ場の大区画化などの基盤整備により農作業の省力化を進めます。</li> <li>3 研修や農業インターンシップなどの受入体制を整備し、就業意欲のある若者などが参入しやすい就農の体制作りを進めます。</li> </ol> <p>2 ブランド化や販路開拓等新たな可能性にチャレンジする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 販売イベントやPR、整備支援などを進め、直売所等の販売を拡大し、地産地消を推進します。</li> <li>2 市内産農林水産物や福井の食のブランド力向上、大都市圏やアジア諸国への効果的な情報発信を行い、販路拡大を進めます。</li> <li>3 <b>オーリーブ</b>などの新たな産地化やブランド化を図るとともに、<b>ECサイト</b>などを活用した農林水産物等のマーケティングを実施し、販路開拓を進めます。</li> </ol> <p>3 稼げる林業と水産業を推進する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>森林環境譲与税</b>を活用し、管理されていない森林の整備や木材利用による普及啓発を強力に押し進めます。</li> <li>2 ICT等の活用による生産性の向上や情報共有による林業・木材産業事業者の連携強化を進め、稼げる林業の構築を進めます。</li> <li>3 水産資源を維持するため、つくり育てる漁業への取組を支援するとともに、ICT等を活用した「<b>スマート水産業</b>」を推進します。</li> <li>4 就業希望者へのサポート、就業環境の改善等により、次の世代を担う多様な形態の人材育成確保に取り組みます。</li> </ol> <p>4 農地・農村の環境を守り活性化を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多面的機能支払活動組織の広域化を支援します。</li> <li>2 中山間地域において、集落活性化への支援などを進め、自然や食などの地域資源を活用したコミュニティビジネス等の魅力あるビジネスの構築を図ります。</li> <li>3 越前水仙の産地活性化や品質向上対策を進め、ブランドの維持・出荷量の増加を図ります。</li> <li>4 有害鳥獣の捕獲にICTを活用するなど獣害対策の効率化を図り、農業・生活被害の低減を図ります。</li> </ol>
	<p><b>政策 10 商工業に関する政策</b></p> <p>新たなチャレンジを後押しし、活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ものづくり技術の高度化や魅力ある産業の育成、創業支援の推進により地域経済を活性化します。</li> <li>●若者のUIターン就職や地元就職を促進するとともに、誰もが意欲や能力をいかして活躍できる就業機会を確保します。</li> </ul> <p>1 地域の商工業を振興する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 デジタル技術やオープンイノベーションなどによる新技術、新商品の開発や販路開拓への支援により、企業の「稼ぐ力」の向上を促進します。</li> <li>2 繊維をはじめとしたものづくり産業の高い技術を、市内外の若者へ発信することにより、担い手の確保につなげます。</li> <li>3 産業の発展や雇用機会の拡大を図るため、ICTなどの成長産業の誘致や、市内企業の事業拡大に対応した企業立地を推進します。</li> <li>4 地元の新鮮な食材や伝統技術などの様々な地域資源を活用した魅力ある商品を創出するとともに、各種団体と連携し、地域に根差した商業・サービスの発展に努めます。</li> </ol> <p>2 創業の促進と事業承継の円滑化を支援する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若者等の夢を応援するため、熱意ある創業を支援するとともに、創業した後も早期に経営が安定するよう創業者をバックアップします。</li> <li>2 中小企業が持つ貴重な技術やノウハウを次代に引き継ぐため、事業承継の支援体制の充実を図り、担い手の確保に取り組みます。</li> </ol> <p>3 地元で働く魅力を発信する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県やハローワークといった関係機関との連携を強固にするとともに、市内企業で働く魅力や優れた技術などを、直接、見て触れて知ってもらうことにより、UIターン就職のさらなる促進を図ります。</li> <li>2 未来を担う若者に対し、福井の企業の持つ優れた技術や先進的な取組などを伝えることで、市内企業で働く意識を高め、地元就職や将来のUIターン就職につなげます。</li> </ol> <p>4 多様な人々が活躍できる雇用環境を推進する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 働き手の希望やライフステージに応じて、活き活きと働きつづけることができる職場環境を整備します。</li> <li>2 多様な人材の能力を活用しながら、安定した労働力を確保するため、副業やテレワークなどの<b>新たな働き方</b>に関する理解を促進し、一人ひとりの状況に応じた働きやすい魅力的な環境づくりへの取組を支援します。</li> </ol>

七次総合計画との比較表（第3部会）

第七次	
分野	政策 施策
政策10 観光に関する政策	<p>観光資源を磨き上げおもてなしの心があふれる観光のまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光資源をさらに磨き上げ、市民が福井に誇りと愛着を持っておもてなしする観光のまちづくりを推進します。</li> <li>●外国人観光客の受入れや周辺地域と連携した広域観光を推進し、滞在、体験、交流型観光などにより、さらなる観光誘客に取り組みます。</li> </ul>
	<p>1 文化や自然を活かした観光資源を磨き上げ発信する</p> <p>1 「一乗谷朝倉氏遺跡」は、別格の観光地として情報発信をさらに強化するとともに、日本一の戦国城下町のフィールドミュージアムを目指し、ソフト、ハードの両面から取組を進めます。</p> <p>2 「まちなか」では、養浩館庭園やグリフィス記念館など、歴史的な観光資源のさらなる活用を図るとともに、風格あるまちづくりと連携した周遊性向上に取り組みます。</p> <p>3 「越前海岸」の風光明媚な自然の魅力をさらに体感できる環境整備に取り組み、魅力向上を図ります。</p> <p>4 福井の歴史・文化・産業・食などの魅力を活かした体験型の観光誘客を推進します。</p> <p>5 新たな観光資源の掘り起こしや、既存の観光施設の改修を進めるとともに、観光地の交通アクセスの充実に取り組みます。</p>
	<p>2 観光を通してイメージアップを推進する</p> <p>1 福井市宣伝隊長朝倉ゆめまの活動をはじめ、出向宣伝や様々なツールを利用した情報発信を通じて、本市の知名度やイメージの向上を図ります。</p> <p>2 将来のリピーターに繋がる教育旅行や学生合宿の受入れ、また、市の施設を有効活用しコンベンションなどMICEの誘致を積極的に推進し、新たな観光需要を掘り起こします。</p> <p>3 周辺自治体との広域連携による観光ネットワークを形成することで、広域観光とインバウンド観光の強化を図り、滞在・交流型観光を促進します。</p>
	<p>3 おもてなしの充実を図る</p> <p>1 市民が本市の魅力を知り、誇りと愛着を持ちながら観光客を「つるつるいっぱいのおもてなし」の心で温かく迎える「観光おもてなし市民運動」を推進します。</p> <p>2 地域住民が企画・実施する「まち歩き」等の観光まちづくりの取組を支援するとともに、観光を担う人材を育成して、市民と行政が一体となっておもてなしする観光のまちづくりを推進します。</p>

第八次	
政策	施策
政策11 観光に関する政策	<p>福井の魅力「福いいネ！」を実感できる、おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●観光資源をさらに磨き上げ、市民が福井に誇りと愛着を持っておもてなしする観光のまちづくりを推進します。</li> <li>●ふくい嶺北連携中核都市圏の構成自治体とも連携し、広域観光やインバウンド観光を推進するとともに、体験・交流プログラムなど観光メニューの充実に取り組みます。</li> <li>●本市の認知度向上やイメージアップを図り、北陸新幹線開業効果を最大限に高めます。</li> </ul>
	<p>1 観光資源を磨き上げる</p> <p>1 「一乗谷朝倉氏遺跡」では、戦国城下町の魅力を未来につないでいけるよう、令和4年開館の県立博物館とも連携し、案内ツールや体験プログラムの充実等に取り組みます。</p> <p>2 「まちなか」では、ふくい桜まつりなど誘客イベントの開催やライトアップによる夜間景観の創出など、観光消費拡大につながる取組を進めるほか、名勝養浩館庭園や福井城址等の歴史遺産を活かし、周遊性の向上に取り組みます。</p> <p>3 「越前海岸」では、雄大な「自然」と豊かな「食」を活かした五感に響く体験・交流型観光を推進します。</p> <p>4 石がたり文化といったテーマで日本遺産の認定を受けた一乗谷朝倉氏遺跡、名勝養浩館庭園及び白山平泉寺をはじめとする「ふくい嶺北連携中核都市圏」に所在する多様な観光資源をつなげ、<b>広域観光圏</b>としての魅力の向上に取り組みます。</p>
	<p>2 誘客プロモーションを強化する</p> <p>1 本市のプロモーションの旗印である「福いいネ！」を活用し、官民一体となったプロモーションを展開することで、本市の認知度向上、イメージアップにつなげます。</p> <p>2 北陸新幹線や中部縦貫自動車道の沿線地域に対する情報発信について、県や「ふくい嶺北連携中核都市圏」の構成自治体とも連携し、一体的かつ集中的に展開することで、観光地として認知度向上につなげます。</p> <p>3 若い世代や外国人の観光客に訴求力のあるSNSなど、インターネットを積極的に活用し、ターゲットに応じた効果的な情報発信を行います。</p>
	<p>3 おもてなしの充実を図る</p> <p>1 観光客を「つるつるいっぱいのおもてなし」の心で温かく迎える「観光おもてなし市民運動」をオール福井で推進します。</p> <p>2 福井の魅力をしっかりと伝えることができる観光ガイドや、インバウンドに対応できる通訳ボランティア等を育成します。</p> <p>3 北陸新幹線福井駅における観光案内機能を強化するとともに、キャッシュレスやインターネット環境の整備を促進します。さらに、感染症という新しいリスクに対応するため、感染症予防策の徹底やインターネットの活用など、安心して快適に旅行を楽しめる取組を進めます。</p>